

保育園・幼稚園・小学校・中学校における 食物アレルギー児の給食対応の比較検討 栃木県におけるアンケート調査

出典	日本小児アレルギー学会誌(0914-2649)25巻4号 Page692-699(2011.10) (http://search.jamas.or.jp/link/ui/2012099379)
著者	山田裕美 他
調査地域	栃木県
調査時期	2007年
調査対象	保育園(0~6歳) 幼稚園(3~6歳) 小学生(6~12歳) 中学生(12~15歳)
有効回答数	保育園:16887人 幼稚園:15042人 小学校:96758人 中学校:42888人
有効回答率	保育園:67.2% 幼稚園:48.6% 小学校:87.8% 中学校:82.8%
診断方法	教員の申告
有症率	保育園:2.4% 幼稚園:2.4% 小学校:2.8% 中学校:1.5%
調査概要	栃木県の保育園・幼稚園・小・中学校における食物アレルギーの給食対応を調査した論文。在籍率は施設間で優位差はなく、給食対応に医師の診断書を義務付けている割合が多く、除去食や代替食対応が多く行われていた。